

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	交野市立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用のお子さんだけでなく、親子教室を実施するとともに家族支援をしており、当センターだけで対応が難しい場合は他機関と連携して支援できるようにしています。 また、定期的に心理職による発達検査にもとづき、客観的な視点で子どもの発達を評価し、指導員と支援内容を深めています。	療育を受けるお子さんだけでなく、日々一緒に過ごすご家族への支援を心掛けています。 困った事や、悩んでいる事をすぐに相談しやすい環境や時間を設けて、お家でもできる事を提案させていただいています。 保護者が疲れている時は、子どもの安全面の確保をした上でタイムリーに預かりもしています。	保護者が話しやすいように寄り添いながら支援を継続していきます。 また、保護者が子どもの発達について理解し、受け入れてくれるよう、学習会、療育内容の充実をはかります。
2	保育所や認定こども園、幼稚園に当センターの心理職が巡回相談に従事しているため、通園児の園での様子もよく理解した上で支援につなぐことができます。 また、教育委員会とも連絡会を設け、就学後の学校生活が円滑にいくようにしています。	センターの業務について変更等あれば、随時、こども園課、園長、校長へ連絡をとるようにしています。	子どもの発達の状況に合わせて回数を調整していく。顔の見える関係づくり。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスがない。	送迎サービスがないため、保護者が送迎しなくてはならない。	タクシー利用券の提供 公共バス利用案内 子どもの送迎サービスの案内
2	すぐに医ケア児の預かりができない。	医ケア児専門の看護師が、募集してもすぐみつからない。	医ケア児専門看護師の確保